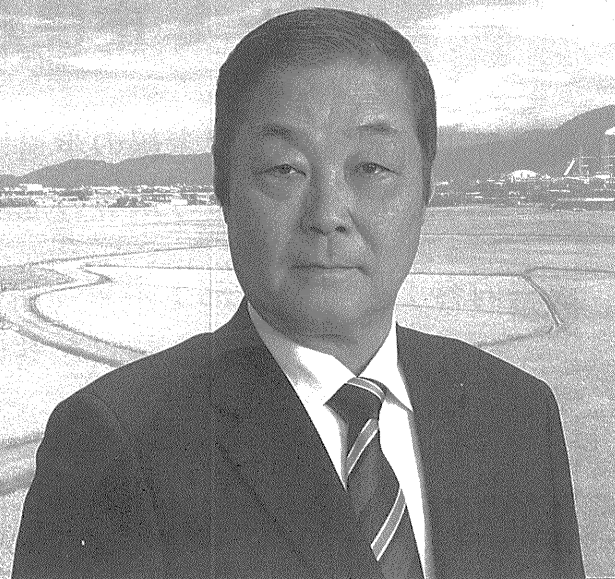


登米市議会（令和3年6月定期議会）

すとうこうき報告

市民の意見を
市政に活かしてまいります。



発行／須藤 幸喜 住所／登米市登米町小島大野前84番地5 TEL／090-7937-7026

市民の意見を 市政に活かしてまいります！

令和3年4月に開催された、登米市議会議員選挙から早4か月が立ちます。

みなさまのご支援をいただき、再度市政発展の一助として働く事ができますこと、感謝でいっぱいです。

今回の選挙から、政策と理念を共有し、今後パートナーとして活動を行える団体への参加を行い、市民と共に生活と暮らし、そして安全・安心を中心に活動を展開してまいります。ご協力をお願いいたします。

さて、選挙戦で多くの地域を廻らせていただき、耳にすることの多くは、コロナウイルス感染症対策の早期ワクチン接種でした。

さらに、市道・県道・国道の朝夕の通学に支障がある歩道整備や路面補修、生活雑排水路の整備の改善を望む多くの要望があり、改めて市民と共に生活に密着し、お寄せいただきました「意見・要望」を果たしてまいります。2期目は総務企画常任委員会の委員長を仰せつかりました。委員各位との調整はもとより、開けた議会活動に取り組みます。よろしく申し上げます。

すとうこうきプロフィール

＜＜主な経歴＞＞

昭和36年7月5日	登米町に生まれる（60歳）
昭和55年3月	宮城県米谷工業高等学校卒業
平成18年4月	登米市立登米中学校PTA会長
平成18年4月	登米市PTA連合会会長
平成25年7月	登米市職員組合執行委員長
平成28年9月	登米市職員退職
令和3年4月	登米市議会議員2期目当選

＜＜現職＞＞

市議会総務企画常任委員会委員長

＜＜政策団体職＞＞

立憲民主党宮城県総支部連合会幹事
 （政調会長補佐 文化スポーツ政策 労組担当）
 立憲民主党登米支部 副代表
 市民フォーラム登米支部 副代表

6月補正での主な可決事項

◎ときめきプレミアム商品券

- 登米市全市民（約77,000人）を対象に、一人1セットの5割増し商品券（5,000円で購入し、7,500円分利用）を販売する事業です。
- 登米市全世帯へ世帯人数分の引換券を送付し、購入希望者は市内の郵便局で商品券を購入することとなります。
- 商品券購入者は、市内利用店舗で割増商品券分のサービスを受けることができます。
- 商品券購入引換券の発送は、8月に行われます。

商品券の販売

9月1日～11月末日まで

●商品券の利用は、9月1日～12月末日までです。

引換券と5,000円を
持ち郵便局へ。

〒
郵便局で
購入

7,500円の商品券が
受け取れます

利用期限が過ぎれば無効となりますので注意願います。

コロナウイルス感染症対策は

手を洗おう・消毒しよう・マスクをしよう・換気をしよう・うちで過ごそう

市民からの要望事項と改善報告

要望事項： 県道築館登米線の歩道は、雑草の繁茂と、蓄積の土砂により、児童生徒の通学に支障を与え、転倒によるけが等の危険をはらんでいます。通学に影響を与えない改善をお願いします。

改善内容： 宮城県東部土木事務所登米地域事務所（登米合同庁舎内）所長室で、宮城県議会議員の熊谷義彦県議会議員と共に出向き、「現状は非常に危険である、改善をお願いする」旨要望活動を行いました。

要望結果： 4日後、地元業者による除草及び土砂撤去が急ピッチで行われ、改善をしました。宮城県によると、歩道改修に手を付けるのにはあと数年は要するとの話でありましたが、整備計画を進め、実施と早期完了をさらにお願ひしました。

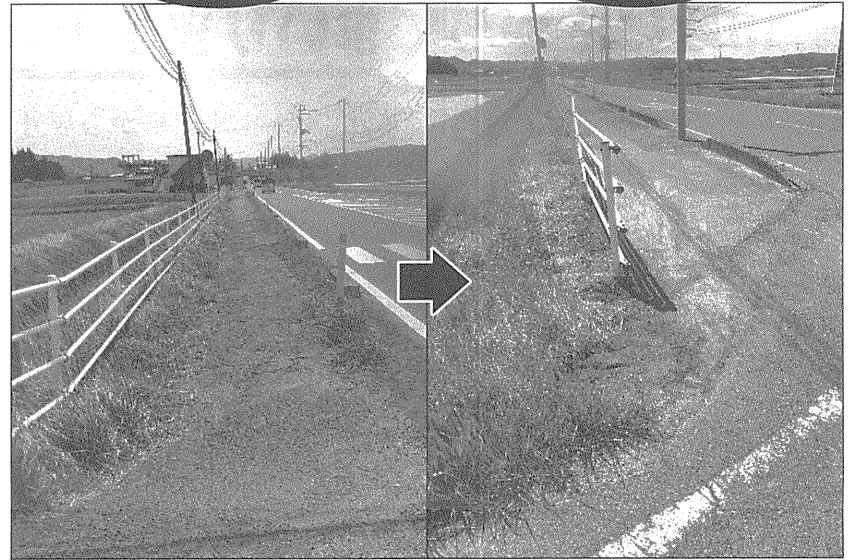
施工前

施工後



施工前

施工後



すとうこうき一般質問・答弁

◎定住者を軽んじた施策になっていないか

問 「未来を担う子どもを安心して産み育てられるまちを目指す」「社会全体で子どもの育ちを支援してゆく」その現状は定住者を軽んじた施策になってはいないか。

問 本市への移住者、Iターン・Uターン者等々、あらゆる施策を講じての人口増加推進は大いに賛同するところではあるが、「人口を減らさない」「定住者に思いを寄せる」施策も重要ではないか。

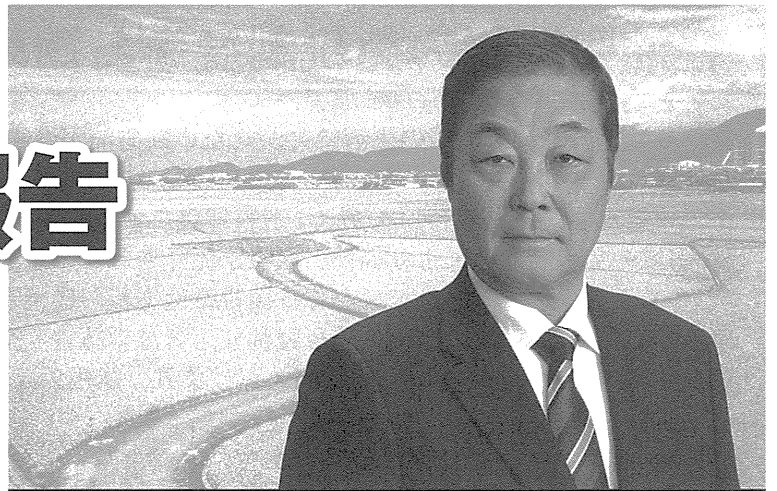
答 本市子ども・子育て支援事業計画、幼保連携型認定こども園の設置、子育て支援センターの運営及び一時保育事業等、健やかな育児ができる支援体制を整備している。

答 人口減少は労働力の減少、消費が減るなどの経済規模の縮小を招き、小売店や飲食店の撤退、税収等の減少による行政サービスの低下など地域社会の衰退をもたらすことから地域社会を維持していく上で、人口減少に歯止めをかけることは自治体にとって喫緊の課題である。

第二次登米市総合計画において、重点戦略として移住・定住者の創出と転出者の抑制を図り、市民に「住み続けたい」という思いを持つ、魅力あるまちづくりを推進する。

登米市議会（令和4年2月議会）

すとうこうき報告

発行/須藤 幸喜 TEL/090-7937-7026
住所/登米市登米町小島大野前84番地5

政治信条

子どもと家族を護る！
生活と環境を護る！
笑顔輝く登米市民を護る！

コロナウイルス感染症は、第6波の蔓延状況が続き、宮城県においてそして、登米市においても、未だ高止まりの状態です。ご自身のため、ご家族みなさまのためにも、うがい・手洗い・マスクの着用を徹底しましょう。

さて、令和4年2月議会も終了しました。今回の報告は、「共稼ぎ世帯での子育てでおきた悩みの解消」、「原油高による農業等の軽油引取税の免税制度」そして「ときめき生活応援商品券」についてお知らせいたします。

令和4年度も、私「すとうこうき」は、市民に寄り添った誠実な心をもって活動してまいります。

とよま 登米公民館に感謝



共稼ぎをしている小学生をお持ちの家庭から、学校授業終了後は自宅に大人が不在である。子どもを帰宅時の安全と見守りを願う観点から、児童館への入所を希望した。

しかし、下記の事由から低学年の子どものみでの入所で、高学年の子供については入所することが叶わなかった。家庭の誰かが仕事を辞めなくてはならないこととなる。との相談が寄せられました。

①児童館の施設規模から収容人員は60人となっている。令和4年度入所希望は90人であり、定員規定にはないものの2割の入所増員を行い概ね75人の入所決定を行った。

②入所の判定については、「利用調整指数調べ書」をもって決定しており、世帯の状況と学年による加算指数等により、点数の高い順に入所決定している。

※利用調整指数調べ書とは：入所希望者が多い場合、世帯の就労時間・産前産後・傷病や介護等の状況による点数評価。さらに、学年や母子父子の状況による加算等で入所順位を決める指標。

入所の叶わなかった子どもは15人、行政の手助けが必要な状況は必至であることから、担当課である「子育て支援課」との協議を行い、同敷地内の登米公民館への施設提供をお願いした。公民館との交渉を行った結果、「とよまの子どものためでもあり協力は惜しまない」との快諾を受け、令和4年度入所希望者90人の入所が決まりました。

軽油引取税の免税制度をお勧めします



ガソリン・軽油・灯油等の生活に欠かせない揮発油きはつゆが高騰しています。農業を営む市民の皆様及び生活に軽油が欠かせない方々へのお知らせです。

ディーゼルエンジン（軽油）で動く、農耕器機を使用して農業等を行い、年間18リットル以上軽油を使用する人は、「軽油引取の免税制度」により軽油引取税が免除される制度があります。

（全ての方が対象となるわけではなく、国税や地方税の滞納者等々は対象にはなりません）

免税軽油を受けるためには、「免税軽油使用者証申請書」や「免税証交付申請書」などの申請手続きが必要です。

免税制度の期限は、令和3年度税制改正により、課税免除（免税軽油）の特例措置が3年間延長し（令和6年3月31日まで）となります。

その制度により免税証を使用することで、リットル当たり32.1円が免除されることとなります。

詳しくお知りになりたい方や、申請用紙等の必要な方は下記までお問い合わせください。

担当事務所

宮城県東部県税事務所登米地域事務所 政務班

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5（登米合同庁舎2階）

電話：0220-22-6113 FAX：0220-22-8162

ときめき生活応援商品券事業



新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中登米市では、登米地域商工会連絡協議会が実施する、生活応援商品券の発行に対して補助し、市民の生活、市内消費の活性化及び市内の経済活動を支援する事業を実施します。

これまでの取り組みとしては、現金により、割増の商品券を購入し、必要な物資等を購入する仕組みで行われてきました。

今回は、現金との交換に不便を感じるなどの問題を改善し、赤ちゃんから高齢者までの全市民対象に、一人3,000円分の商品券が世帯ごとに送付されます。

商品券の発行 単位と用途	一人1セット3,000円 ※1セット：500円券が6枚 (地元券：4枚【2,000円分】、共通券：2枚【1,000円分】)
利用店舗	市内の申込店舗（想定 約600店）
実施時期	商品券発送： 令和4年6月上旬 商品券利用期間： 令和4年7月1日～12月末日まで

登米大橋は大丈夫？

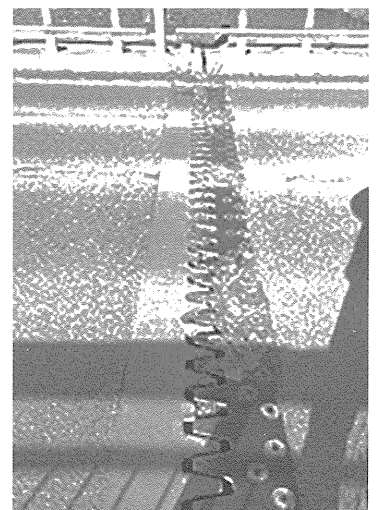
北上川の東側に住んでいる市民より、登米大橋の道路の継ぎ目（ジョイント）部分1カ所が、他の継ぎ目より大きく、不安である旨の話を受けました。

確認すると、話で聞いたとおりに、他の継ぎ目とは明らかに違い、大きな広がりでありました。

東部登米土木事務所道路管理班へ連絡を行い、内容説明をし現状に不安を抱えている市民の声を伝えました。同様の連絡も多く寄せられているとの事でした。

結果は「現場にも行き状態は確認している。」「安全は確保している」との回答であったが、明らかに広く、下の状況も見えることから、早急に対応を申し出ました。

後日道路管理班より、令和4年度に予算化を行い対応する旨の連絡を受け、話を聞いた市民に伝えました。



皆様からの情報をお待ちしております。誠心誠意対応します。